

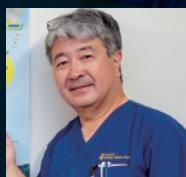


CODE BLUE SEMINAR report

コード・ブルー（子ども医療体験）セミナーレポート

3rd

2024



広報委員会 委員長 最上 敦彦

救急医療に興味を持ってもらおうと子どもたちに向けて企画された「コード・ブルーセミナー」は、コロナ禍を経て5年ぶり3回目の開催となりました。子どもたちの笑顔や驚いた顔、キラキラ輝く目を見て、やはり「実体験」が一番皆さん的心に直結するものだと再認識しました。コード・ブルーセミナーに参加した子どもたちが、ゆくゆくは救急医療の担い手となって救急現場に帰って来てくれることを願っています。

J's
ジェイズ

臨時号

2024年8月



CODE BLUE SEMINAR report

今回のセミナーは、地域の子どもたちに当院や医療に対する興味・関心を持ってもらおうと準備を進めてきた企画です。当日は200人以上の応募者から抽選で選ばれた24人の小中学生が参加し、実際の現場で使用する医療器材を用いた各種医療体験を通じ、救急医療に携わる医師・看護師・スタッフと交流をしていただきました。

医療の現場がはじめてとあって、子どもたちの新鮮な驚きやイキイキとした表情が印象に残りました。

2024年7月6日(土)に開催したコード・ブルーセミナーの模様をレポートいたします。

report
01

ドクターへリポート見学

救急コール「コード・ブルー」に対応し救急現場へいち早く医師・看護師を連れていくドクターヘリ。機内には初期治療に必要な医療機器や医薬品がズラリと並び、普段見ることのできない光景に子どもたちは目が釘付けに。出動は年間900件を超えると知り更にびっくり！

report
02

エコー・聴診器体験

「肝臓」ってここにあるんだ！血管が脈打っている！そんな声が飛び交ったエコー・聴診器体験。自分の体の中を覗く不思議な感覚は生まれて初めての経験でした。



report
03

ギブス固定体験

水に浸すと固まる特殊な素材を使ったギブス固定体験。固定された姿を見せ合い、微笑ましい場面が多くみられました。子どもたちには包帯を巻くコツも伝授されました。



report
04

手術縫合体験

実際の手術室で行われた手術体験では、手術着・手袋を装着。皮膚に見立てた練習用パッドに執刀し、悪戦苦闘しながら縫合の糸結びまでやり切りました。



コード・ブルーセミナーを振り返って



interview



参加者 小学5年 じんさん



参加者 小学6年 りみさん



大森 救急診療科医師



中田 臨床検査技師

印象に残ったのは、手術縫合体験です。糸を結ぶときは集中力が必要で、最初は失敗したけど段々うまくできるようになりました。ドクターへりを初めて間近で見て感動しました。酸素ボンベや色々な器具がギュウギュウに詰めてあって凄かったです。忘れられない体験になりました。

医療系テレビドラマの影響で以前から医学に興味を持っていて応募しました。ドクターへりはどのくらいの大きさなの?など気になっていた部分がしっかり見られたので嬉しかったです。エコーなど自分で体験する内容が多く、先生たちが優しく教えてくださってとても楽しかったです。

最初は緊張していた子どもたちもセミナーが終わる頃には笑顔が増えていて安心しました。「医者になりたい」「医療従事者になりたい」と目標を持った子どもたちが多く参加していて素晴らしいなと感じました。今回の体験を通じて更に医療に興味をもってくれば嬉しいです。

患者さんからのフィードバックを普段はあまり聞くことがないのですが、今回のセミナーで「ありがとう」や「これすごい!」など子どもたちが喜んでいる声を実際に聞くことができ嬉しかったです。仕事のモチベーションにも繋がりました。今後も積極的に体験会を実施していきたいです。

